

[よく聞かれる質問集 \(FAQ\)](#)

Diversity Equity & Inclusion (DEI) について

—  
Q: Diversity Equity and Inclusion (DEI) とはどのような意味ですか？

A: **Diversity**(多様性)とは、現代社会に年齢、人種、民族、出身国、性別、障がい、宗教、性的指向や経済状況などにおける多様な個々の違いが共存していることを指します。**Equity**(公平性)とは、人間一人ひとりに偏りのない公平な情報と機会を保障しようとするものです。**Inclusion** (包括性)とは、個々の多様性を尊重し、皆が同様にサポートを受け、平等に評価され、そして障害なく参加できるような環境を作ることです。無意識な、または暗黙の偏見を見逃さず、包括的な組織や社会を目指します。

—  
Q: Diversity Equity and Inclusion (DEI) はなぜ大事なのでしょうか？

Diversity(多様性)を尊重することで、私たちひとりひとりが個性を発揮し生き生きと自分らしく生きていくことができ、人生や社会はより潤いに満ちたものになります。Equity(公平性) が保障されることにより、人間一人ひとりが才能を磨き発揮する場を得ることができ、社会の中での個々の存在の重要性を見出すことができるようになります。Inclusion(包括性)を推奨することで、多様な社会において、誰もが平等に受け入れられ、個人の持つ特別な才能やユニークな意見を恐れることなく共有できる場を作っていくことができるのです。

A: 学校教育において: 学校教育の現場において Diversity(多様性)と Inclusion(包括性)を尊重することで、教師も生徒も皆上記のような大きな恩恵を受けることができます。社会や学校における Diversity(多様性)、また生徒達の個々の可能性や特質を受け入れることにより、生徒達は物事を客観的に分析する能力(critical thinking)や想像力を身につけることができるのです。

A: PTAにおいて: PTAは保護者と教職員とで構成される組織です。PTA自体が、学校コミュニティの多様性を尊重し、理解を深めることにより、PTAとしてよりinclusive(包括的)な活動を、責任を持って遂行することができるようになります。また、PTA役員の面々がその学校に属するコミュニティの多様性を正しく反映していれば(\*1)、コミュニティの声をより正確に反映することができ、PTAとしての確に学校コミュニティのニーズや問題に対応することができます。そして自然とボランティア参加が増加したり、助け合いの輪が広がるという効果があり、より団結力の強いPTAへと成長することが期待されます。

(\*1) 例えば、学校生徒は白人、アジア人、ヒスパニック、黒人、アメリカ原住民等が混じりあったコミュニティであっても、役員会がほぼ全員白人であれば、それはこのコミュニティの多様性を正しく反映した役員会とは言えません。もちろん人種に限らず、その他のコミュニティの多様性をより反映した役員会であるのが望ましいでしょう。

A:コミュニティにおいて: どのような状況においても、人は Diversity(多様性) と Inclusion (包括性)に対する理解を深めることにより、よりバランスの取れたグローバルな考え方ができるようになります。そのような人の集まるバランスの取れた社会は、多様性や意見の相違を受け入れることができ、不和や紛争を減らします。さらに、互いの様々な違いに関わらず、社会における個々への理解と尊敬を深め、多様な社会の中で、より豊かな交流を生み出すことができるのです。

—  
Q: もっとシアトル学区におけるPTAの公平性 (Equity)に関する問題について知りたい場合には、どのようなリソースがありますか？

- 
- [SESEC](#) (Southeast Seattle Education Ciliation)
  - [Roadmaps project](#)
  - [Nice White Parents Podcast series](#)
  - [PTSA Equity Pledge](#)
  - [FACES](#)
  - [Integrated Schools \(Katy Strange Seattle Chapter lead\)](#)
  - [UW School Equity Data Page](#)
  - [Alliance for Education Resource Pages](#)

—  
Q: マクドナルド小学校ではどのような理念の下、どのようなDiversity, Equity, and Inclusion (DEI) 活動をしていますか？

- 
- 無意識な偏見の認識
  - 偏見や先入観を自己管理することの重要性
  - PTA内においてDEI への理解を深めるための活動
  - 様々な文化における祝日を認識し敬う
  - コミュニティの誰もが参加しやすいように考慮し、会議やイベントを計画する
  - コミュニティからのフィードバックを常に歓迎し、平等に対処する
  - 学校やPTA のポリシーの見直し
  - DEI 活動の進展状況を把握する

—  
Q: マクドナルド小学校のPTA 役員会 (PTA ボード) は、どれくらいの比率で本校内とシアトル学校区全体に関するDEI推進活動を行うべきなのでしょう？

A: マクドナルド小学校のPTA 役員のポジションのほとんどは、もともとは本校のための活動をすべく設けられたものです。また、シアトル学区内にはPTAさえ存在しない学校もある中、我が校のPTAは非常に参加者も多く、リソースも充実し、組織力もあります。様々な不平等が実在するシアトル学区の現状を考慮すると、引き続きマクドナルド小学校内のコミュニティのために活動を続けると共に、本校以外の学校に起こっていることにも目を向け、DEI 推進活動をしていけることが望ましいとDEI 委員会は考えます。

---

**Q:** マクドナルド小学校 PTA には DEI 委員会がありますか？

**A:** マクドナルド小学校の DEI 委員会は、保護者と教職員の両者で構成され、2019年秋に発足以来、月一回の頻度で委員会ミーティングを開き、様々な活動を繰り広げています。DEI委員会は、DEI推進活動に興味を持ち、積極的に取り組もうというマクドナルド小学校のコミュニティのメンバー達が集まる場であり、発足以来、お互いの多様性を尊重し、時間をかけて心地よい結束力のあるチームを作ってきました。そして、今後も同じ志を持つメンバーの参加を期待し、さらに多様性豊かなグループとして、マクドナルド小学校内外に関わらず、社会正義に関する課題に取り組んでいこうとしています。

---

**Q:** DEI委員会では、どんな活動をしていますか？ また、小委員会 (subcommittee) などでの活動もありますか？

**A:** DEI委員会では、DEI の理念を念頭に、現在以下のような委員会全体、及び小委員会を通じた活動を行っています。その活動はマクドナルド小学校内のみでなく、シアトル学区内のDEI推進活動も含まれます。またマクドナルド小学校の先生とスタッフで構成されるRET (Racial Equity Team) と協力した活動も行っています。

- DEI 委員会ミーティング(月1回)
- 子供向けブッククラブ (social justice book club、隔週)
- コミュニティ パートナー シップ小委員会 (月1回)
- DEI 推進活動を念頭においた保護者向けの活動 (勉強会 (Parent ED) の企画、DEIに関するよくある質問集の作成、...etc.)
- マクドナルド小学校のPTA役員会議への参加と議題の提案 (月1回)
- Scottie's News での委員会活動の報告
- シアトル学区内の他校の DEI 委員会との交流ミーティング (月1回)

---

**Q:** DEI 委員会でのこれまでの活動の成果例などがあれば教えてください。

**A:** 2019年秋に発足以来委員会としてはまだ日は浅いですが、以下のような活動をしてきています。

- **AAPI (Asian American and Pacific Islander)** コミュニティへの連帯サポート表明/共同アートプロジェクトの作成「桜」: 2020年に起こった全国的なアジア人に対するヘイトクライムの横行を議題とし、学校コミュニティとして我が校内、そして近隣コミュニティと共に困難な時を共有し、どのようなサポートができるのかについて多くの議論を重ねました。その結果、DEI委員会の一員でもあるアート教員の多大な協力と校長をはじめとする学校を上げての賛成を受け、(1)全校生徒がアートの授業の一環として、日本人強制収容所について絵本を通して学び、それをもとに人種差別撲滅を念頭においたアート作品を作成、(2) 全校生徒及びその家族から、世界平和や人種差別撲滅へのメッセージの書かれた

折り紙の桜の花を募集し、校内に大きな桜の木の共同作成展示物を作成し、マクドナルド小学校としてのアジア人コミュニティへの連帯サポート表明活動を行いました。

- 保護者に向けた **Black Lives Matter** 勉強会の開催：生徒達が一年を通して学校で学んでいる Black Lives Matter 13 Principles に習い、保護者にもそれについて共に学ぶ機会を設けサポートすることを目的に、年に一度 保護者むけの勉強会 (Parent ED) を実施しています。また、リソースの共有活動の一環として、このイベントには近隣のシアトル公立小中高等学校のPTAを通して、他校の保護者も参加できるように設定しました。
- **RET**のサポート：マクドナルド小学校の教師とスタッフで構成される RET (Racial Equity Team) をサポートし、校内で人種差別もしくは 反Inclusive(包括的) な言動があった場合、それを生徒や保護者から報告しやすいようなシステムを構築していく手伝いや意見交換をしています。
- コミュニティ パートナーシップ 小委員会：当小委員会の活動の詳細については、以下の「他校とのリソースの共有／コミュニティ パートナーシップ ファンドについて」及び「コミュニティパートナーシップ小委員会」の記述を参照ください。

---

**Q: DEI 委員会**は、マクドナルド小学校内におけるDEI 問題におけるニーズにどのように対応していますか？

---

**A:** DEI委員会に参加する保護者と教職員は、共にこれらの問題についても盛んに議論し、行動に移しています。また、マクドナルド小学校には、教職員とスタッフで構成されるRacial Equity Team (RET) が存在し、RET に属する教師の一部はDEI 委員会にも定期的に参加し、情報共有及び問題への対処に協力し合っています。

活動例: 学校で人種差別的な発言や出来事などがあったという報告を保護者を通して受け、それをRETに報告し対処すると共に、被害にあった生徒やその家族をサポートをしたり、その経験を踏まえて、今後そのようなことが起こった際に被害者がプライバシーを保持しながら、より安全で報告しやすいプロセスを提供できないかと検討中です。

---

**Q: DEI 委員会**の活動に興味がある場合、どうしたら参加できますか？

---

**A:** 興味のある方は、次回の委員会ミーティングの情報が *Scottie's News* に掲載されますので、そちらを参考にしてぜひ一度DEI委員会の月例ミーティングにご参加ください。また質問などがあれば、[dei@mcdonaldpta.org](mailto:dei@mcdonaldpta.org)まで気軽にご連絡ください。

## 他校とのリソースの共有／コミュニティ パートナーシップ ファンドについて

—  
**Q:** DEI委員会は、なぜ他の学校とリソースの共有(寄附金など)を推進しているのですか？

---

**A:** シアトル学区では、公立教育システムであるにも関わらず、長年に渡り、寄附金集めや様々なリソースにおいて、学校間に不平等な状態が存在しているからです(参考記事:[Well documented disparities in resources](#))。

マクドナルド小学校を含め、シアトル学区ではDEI委員会を発足する学校が増えてきています。より多くの保護者と生徒が DEIにまつわる問題に気づき学んで行く過程を支援すべく、それぞれに活動しています。また、リソースに恵まれる学校のPTAの多くは、学区全体の教育や社会的な平等の促進のために、それぞれの持つ多大な寄附金収集力や PTA組織力を役立てるよう、次々と活動を始めています。その中には、リソースが少ない学校や、その学校の家族の多くが日常生活を送って行く上での最低限のサポートを必要とするPTAに向けて、年に1-2度の頻度で金銭的な寄付を行っている学校もいくつかあります。

どの学校のPTAをサポートするかについては、PTA役員会議で毎年話し合っ決めて学校もあれば、特定のパートナー校へ定期的に行う学校もあります。また、年間で集める寄附金のうちの数パーセントを「他校をサポートする寄附金」に充てるという学校もあれば、一般寄付プール (general fund)とは別にプールを設けて任意で寄附金を募る学校もあります。

—  
**Q:** コミュニティ パートナーシップ ファンドとは何ですか？

---

**A:** 現在マクドナルド小学校PTA では、寄附金キャンペーンを行う際に、マクドナルド小学校のための寄附金プール (general fund)とは別に、任意でコミュニティ パートナーシップ ファンド用のプールにも寄付できるようになっています。このファンドは、シアトル学区内の教育上の平等を目指し、リソースをより必要としている他校のPTAに寄付することを目的として募っています。

—  
**Q:** コミュニティ パートナーシップ ファンドへの寄付は、税控除の対象となりますか？

---

**A:** はい。これらの寄付は501(c)3であるマクドナルド小学校PTAが寄附金として受け取るので、マクドナルド小学校に向けての一般の寄附金プールと同様、税控除の対象となります。このコミュニティ パートナーシップ ファンドのプールに集まった寄附金を、どの学校にどれだけ寄付するかについては、最終的にPTA役員会議にて認証された上で各校のPTAに送られます。



—  
**Q:** マクドナルド小学校のコミュニティ パートナーシップ ファンドは、どのような目的に使われますか？

---

**A:** コミュニティ パートナーシップ ファンドは、シアトル学区内で、私達と同じような年齢期の子供を持つご家族のうち、ホームレス状態にあたり、明日にも住む家を追われるような状況、または日々の食べ物に困る状況など、生活をしていくのに最低限な部分で支援が必要な家庭が多い学校へのサポートに充てられます。マクドナルド小学校PTAにより集められたコミュニティ パートナーシップ ファンドは、このような家庭が多い学校のPTAに直接寄付され、その学校のPTAによって日々の生活に困窮する家庭に正當に配分されます。シアトル学区の中には、このような厳しい現実と直面している家庭が多くあり、このファンドによるサポートにより、より多くの年齢期の子供達が毎日の生活における不安を少しでも軽減された環境で学校生活を送れるようになることを1つの目標としています

—  
**Q:** どうすればマクドナルド小学校における コミュニティ パートナーシップをもっと有意義なものにできるのでしょうか？

---

**A:** 姉妹校やコミュニティサポートと銘打つキャンペーンは、それが真の意図ではなかったとしても、実際にはうわべだけの慈善行為であったり、「白人の救世主」(White saviorism)といったサポートをする側が優位だった形になりがちです。そして、このような視点は、シアトル学区の学校やPTAの中に実在する社会的そして教育上の大きな不平等に本気で取り組むことを阻むことにもなりかねません。

**Q:** コミュニティ パートナーシップ活動には、他校に寄付金を送る以外のことも含まれますか？

それに対し、各校のコミュニティ間で、互いを尊重し、恩恵を受け合うことのできる真のパートナーシップを確立していこうという動きが広まり始めています。このようなパートナーシップには、リソースの共有だけではなく、各校の生徒、家族、職員間の交流や結束を強めていく活動も含まれます。いわゆる金銭的にもリソース的にも恵まれた人々が助けの手を差し伸べるといった典型的な形から離れ、リソースに乏しい多くの学校との交流にも力を入れ、それらの学校のコミュニティにおける真のニーズを理解し、それが満たされるように、同志として共に支援し活動していく(アドボカシー)ことを目指すのが望ましい形だと考えられます。

—  
**Q:** 本当に意義のあるパートナーシップを築いていくためには、どんな努力が必要でしょうか？

---

**A:** 真のパートナーシップを築いていくには、単にリソースに乏しい学校へ金銭的支援をするだけでは到底至りません。実際には、リソースのある学校コミュニティは、これまでにない長期的に継続した努力が必要とされるでしょう。自らの属する学校コミュニティがいかにか恵まれているのかを自覚し、教育上の不平等が実在することを念頭に、時に敢えて自分の学校ニーズよりも、学区内に存在するよりリソースが不足する学校のことを優先的に考えていかなければいけないこともあるでしょう。また、この活動をしていく上では信頼できるリーダーを見つけ、その上で自ら持つ組織力やリソースを譲るということもやっていかななくては真のパートナーシップは実現しないでしょう。理想的には、こうしたリソースの共有、ボランティア活動、学校間の交流、アドボカシーなど様々なサポート活動を通して、お互いの生徒、コミュニティ、学校にとって有益な関係を生み出すことが望

ましく、最終的にはそれが長期的な教育上の平等の実現に貢献できるような状況に繋がって行くことが期待されます。

—  
**Q:** マクドナルド小学校には既にパートナーシップを結んでいる学校がありますか？

---

**A:** 正式なパートナー校はまだありません。DEI委員会に属する「コミュニティ パートナーシップ小委員会」は 2020/21 年度と 2021/22 年度に渡り、同じくイマージョンプログラムを持つ コンコルド小学校とのパートナーシップを築くべく活動をしてきています。しかし、パンデミックによりこのプロセスを進めるにも様々な困難に面し、通常よりも時間がかかっているというのが現状です。

—  
**Q:** マクドナルド小学校では、過去にどのような他校へのサポート活動を行なってきましたか？

---

**A:** これまでのところ、コミュニティ パートナーシップ ファンドによる寄附金によるサポート、及びシアトル学区レベルのアドボカシー活動によるサポートを行って来ています。

—  
**Q:** これまで、コミュニティ パートナーシップ ファンドを通して、どの学校のサポートをしてきましたか？

---

**A:**

- 2020年春: コンコルド小学校に \$30,000を寄付
- 2021年秋: オリンピックヒルズ小学校、コンコルド小学校、ディアボーン小学校にそれぞれ \$5,000 づつを寄付

—  
**Q:** マクドナルド小学校PTAは、毎年どれくらいの期間コミュニティ パートナーシップ ファンドへの寄附を募る予定ですか？(DEI 委員会としての提案期間はどれくらいですか？)

---

**A:** DEI委員会としては、マクドナルド小学校の一般の寄附金プール (general fund)の公募活動が実施されている間は、引き続きコミュニティ パートナーシップ ファンドへの公募も同様に受け付けるのが妥当だと考えます。

—

**Q:** コミュニティ パートナーシップ  
ファンドを寄付した学校から、その  
寄附金の使用について何か報告を  
義務付けたりしていますか？

---

**A:** このような寄附金の使用詳細についての報告を求めることは、既  
にリソースが少ない中、コミュニティ内の支援で多忙な他校のPTAに  
更に負担をかけることとなり、Equity (公平性)を目標として掲げ、真  
パートナーシップを築いていく上では、まさに障害になる行為となり  
かねません (参考ウェブサイト: [trust-based philanthropy \(信頼の  
元に成り立つ慈善活動\)](#))。

他校との真のパートナーシップを築くということは、マクドナルド小学  
校PTAとパートナー校PTAが、互いのニーズを理解し、両校の間に  
確固とした信頼関係を築くということです。他校のコミュニティのニー  
ズを最も理解しているのはパートナー校のPTAであり、我が校の  
PTAではありません。寄附金をどのような目的に使うのが最善か  
についての判断に関して、我が校が彼らの判断を100% 信頼し任せる  
ということが、パートナーシップを築いて行く上でいかに重要かがご  
理解いただけるかと思えます。

[追記] 非営利団体の評価、報告義務、Equity (公平性)についてもっ  
と興味のある方は、Vu Le氏による「Nonprofit AF ブログ」を読むこ  
とをおすすめします。特に、以下の3つの記事はこの件について考  
える上で非常に参考になると思われれます。: [記事\(1\)](#)、[記事\(2\)](#)、and  
[記事\(3\)](#)

—

**Q:** コミュニティ パートナーシップ  
ファンドの使い道などについて、あ  
まり細かくルールなどが決められて  
いないように感じますが、なぜです  
か？

---

**A:** コミュニティ パートナーシップ ファンドの使い道などに関して  
は、敢えてその内容を細かく指定していません。それというのも、今  
の米国の社会に存在するシステムは、白人コミュニティを優先／前  
提として出来ており、概してBIPOC コミュニティ(白人以外のコミュニ  
ティ)が基金やリソースからの恩恵を受けにくい構造になっていると  
いう歴史と事実があるからです。英語を母国語としない人々や、長  
年に渡って続いてきた根強い人種差別を受けてきたコミュニティに  
とって、現社会に存在するこれまでに構築されたシステムは決して  
使いやすく、馴染みのあるものではありません。その点を考慮する  
と、既存のシステムや構造に慣れ親しんでいる(リソースに恵まれて  
いる)コミュニティが細かな決め事をするのは、このファンドの本来  
の意図を実現するのに障害になってしまう可能性があります。この  
ような背景から、あくまでもマクドナルド小学校PTAとしては、「シア  
トル学区の全ての学校とコミュニティでの教育上、社会上のEquity(公  
平性)をサポートするため」にコミュニティー パートナーシップ ファ  
ンドを集め、寄付するところまでを行います。このファンドを寄付した  
後、受け取った学校のPTAが何を重要視して、ファンドの配分や使  
用目的を決めるのかについて、我が校がその承認権を持ったり、後  
日報告を義務付けたりするようなことは求めるべきことではないと考  
えます。逆にそのような行為により、信頼関係は損なわれてしまうか  
らです。



—

**Q: DEI委員会の小委員会であるコミュニティ パートナーシップ小委員会の役割や活動内容を教えてください。**

---

A: 毎月一度定期的集まり、DEI委員会の活動の中で、特にシアトル学区にある他校と共にどのように Equity(公平性) のギャップを埋めるべく活動していけるかを議論し活動しています。毎年、学区内のリソースを必要としている他校と連絡を取り合い、各校のコミュニティにとって、我が校のコミュニティがどのような形でサポートし合うことができるかを検討し、実行に移します。例)Coat Drive (寒い時期に必要な防寒具の寄付を募り、それを届ける)やコミュニティ パートナーシップ ファンドを通した厳しい現実には面している家族のサポートなど。

またここ数年は、マクドナルド小学校と同じくイマージョン教育プログラムを実施するコンコルド小学校とのパートナーシップを築くべく、互いにどのような活動をしていくべきかを議論、検討しています。

—

**Q: DEI コミュニティ パートナーシップ小委員会に参加したり、その活動についてもっと知りたい場合は、どうすれば良いですか？**

---

A: まずはDEI 委員会の月例ミーティングに参加することをお勧めします。その際に、コミュニティ パートナーシップ小委員会に興味があることをお伝えいただければ、次のコミュニティ パートナーシップ小委員会の月例ミーティングの詳細についてご案内します。もしくは、[dei@mcdonaldpta.org](mailto:dei@mcdonaldpta.org) までメールでお気軽にご連絡ください。

—

**Q: 「コミュニティ パートナーシップ小委員会」の活動は、その他のDEI委員会のその他の活動にどのように関わっていますか？**

---

A: 「コミュニティ パートナーシップ小委員会」で話し合った議題や質問は、DEI 委員会の月例ミーティングで報告をし、DEI 委員会にて最終的な議決を行います。また、DEI 委員会で話し合われた内容を小委員会のミーティングに持ち帰り、そこでさらにより深く詳細を考慮した議論をし、その議題について戦略や必要事項などについて話し合います。